

## The Seventh Asian-Australasian Conference on Composite Materials

### 出張報告書

作成日：2010/11/25

文責：構造工学研究室

2010年度大学院2回生

フ キョウシン

#### 学会詳細

学会名：The Seventh Asian-Australasian Conference on Composite Materials

開催時期：Nov. 15-18, 2010

開催場所：Taipei, Taiwan

研究題目：Application of spring-back molding and needle punching technique to fabrication of stampable bamboo fiber sheet processed with pressed mat

発表者：Xiaochen Fu

連名者：Kazuya Okubo, Toru Fujii

発表形式：Oral (Presentation:10 minutes, Discussion: 2 minutes)

学会 HP：http://www.accm-7.tw/

私は2010年11月15日～19日に台湾・台北で開催された「The Seventh Asian-Australasian Conference on Composite Materials (ACCM7)」に参加しました。多くの大学の教授及び学生の方々の研究発表を聴講すると共に、私自身もニードルパンチ及びスプリングバック成形を適用した竹繊維強化スタンパブルマットの製作について発表いたしました。

2009年に上海で開催された国際会議に参加した経験があるため、今回は緊張感がなく、相手にわかりやすく発表できました。竹繊維の応用に関する発表が少なかったので、口頭発表後の質疑では、竹繊維の抽出方法や竹繊維の機械特性など、基本的な質問を受けました。想定していた質問でしたので、事前に準備したスライドを見せつつ、説明しました。また、その場にいた先生方から材料成形温度についてのアドバイスを頂きました。

4日を期間とした会議に、私は多くの発表者の研究内容を聴講し、グリーンコンポジットを始めとする天然繊維や生分解性樹脂を用いたバイオマスによる材料開発、応用に関する研究、技術の進展について学びました。さらに、研究開発、応用を発展させるための討論、情報交換を行いました。

また、学会終了後は台北市内(101ビル、故宮博物館など)を観光しました。

最後になりましたが、このような経験を与えて頂いた同志社大学をはじめ、藤井先生、大窪先生及び研究室関係者の皆様に深く感謝致します。

以下、写真に続く



発表会場（台北国際会議センター）



開幕式



会場前（正門）



発表の様子



台北故宮博物館前



台北市内某交差点（バイクの数は凄かった）